

令和4年度「西濃地区学校図書館教育賞」最優秀賞校の実践

○輪之内町立大藪小学校

「本に親しみ、進んで図書館を活用する子の育成」を目標に掲げ、全校体制で組織的・計画的に図書館教育が推進されている。

児童が使用する図書館ファイルには、分類の他にページ数を記録するなど、様々な本に触れたり読書意欲を高めたりする工夫がされている。

図書館利用指導年間計画には、国語科と総合的な学習の時間を中心として、本を活用した指導が意図的・計画的に進められている。

調べ学習室（AGORA）を新たに設置し、図書館を活用し主体的に学ぶことができる環境の充実が図られている。AGORAには、学習で活用できる本の一覧や、児童による質の高い学習作品が数多く展示されるとともに、タブレット端末を用いて調べ学習をすることができるよう、大型テーブルや電源ケーブル、Wi-Fi等、環境が整えられ、学習センターとしての充実が図られている。



○揖斐川町立春日小学校

「生涯学習の基礎を養う自己教育力の育成のため、問題解決学習に役立つ図書館利用を進め、読書を通して豊かな心を育む子の育成」を目標に掲げ、学校の特色を生かした図書館教育が推進されている。

一人一人の児童が、自らが推薦する本を自由に配架できる本棚を配置するなど、小規模校ならではの読書指導が充実している。

図書館の開放や、読み聞かせの参加、図書館祭りでの交流など、幼稚園と図書館を利用した交流が積極的に行われている。

国語科の学習を中心に、図書館を活用した学習が積極的に行われている。また、図書館資料を使用した児童の作品が数多く展示されている。

「新聞づくり」を全校の取組として位置付け、まとめ方についての掲示物やテーマごとの配架など、児童が図書館を主体的に活用できる環境の工夫がなされている。

